

# ウィズ通信

## 「男らしい」は重いらしい

『男らしい』男性とはどんなイメージでしょうか？「弱音を吐かない」、「強い」、「家族を養う」などを思い浮かべられるでしょうか。世の中の男性はみんなこの「男」であるための色々な条件を突き付けられ続けて生きています。「男のくせに泣くんじゃない」と『男らしさ』を求められる場面などはそのひとつではないでしょうか。

一方、男性の自殺率は女性の約2倍(平成25年内閣府調べ)となっています。『男らしさ』にとらわれず、男性も一人で悩みを抱えずに打ち明けることが必要です。

摂津市人権女性政策課では男性電話相談を今年度から開始しており、ウィズせつつでも男性の生きづらさなど男性問題に焦点をあてた講座の実施を予定しています。また、男性問題関連の図書も貸出もしています。

現在、内閣府の男女共同参画局では「男性にとっての男女共同参画」が一つの施策となっています。女性だけでなく男性の意識も変わらなければ男女共同参画は進み



滋賀県立男女共同参画センターG-NET しが 男女共同参画イラストより

ません。まずは『男らしさ』にとらわれない男性の生き方を今一度再考してみたいかがでしょうか。

摂津市 男性電話相談 (相談員は男性)  
06-6155-9167 (毎月第4水曜日、午後1時~4時)

### 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつは・・・

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための目的施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



摂津市立男女共同参画センター情報誌「ウィズ通信」は、年に3回、5月・9月・1月に発行します。

### 男女共同参画 TOPICS

#### 安倍改造内閣で5名の女性が閣僚に

平成26年9月3日、第二次安倍改造内閣の閣僚の顔ぶれが発表されました。

19名中5名の女性が入閣と第一次小泉内閣に並ぶ人数となり、安倍内閣総理大臣が成長戦略の中核と位置付ける女性の活躍促進が、内閣の顔ぶれからもわかります。更には「女性活躍担当相」という行政大臣が新たに創設されました。

今回の内閣改造で閣僚の女性比率は世界の平均を上回ることとなり、女性の政治への参画が一步前進しました。しかし、3月に列国議会同盟(IPU)・UN Women(国連ウィメン)が発表した「世界の女性政治家マップ」において、日本の女性衆議院議員数の割合は8.1%と世界の平均21.8%にも届かず、まだまだ女性の政治への参画が必要です。

# 女性の健康を生涯を通して考えよう

少し昔まで、女性が競技スポーツや格闘技に参加することは、好ましくないと見られていました。女性の身体は子どもを産むためのもの、女性の役割は、男性を応援したり勝者を称えたりすること、といった固定的性別役割意識は根強く、女性の生き方には多くの制約がありました。しかし、今ではスポーツだけでなく、男性優位、男性中心だった領域でも女性が活躍するようになっていきます。

男女が対等に社会に参画するためには、違いを理解することも大切です。女性の身体は、年代によってホルモンの変動の影響を大きく受けます。女性と男性ではかかりやすい病気が違い、また同じ薬剤でも治療効果が違うことなどが性差医療の進歩によってわかってきました。性による違いがハンデとならないよう、社会全体の理解が進み、適切なサポートが提供されるようになれば、個人の生き方の選択の幅はさらに広がるでしょう。

男女共同参画セミナー／ウィズせつつカレッジ 2014 入学記念講演

## スポーツから考える男女共同参画

今年の男女共同参画セミナーは、柔道家・山口香さんをお招きして講演会を開催しました。

お話は女子柔道の歴史から始まりました。女子柔道は明治時代から行われていましたが、女子は長い間試合に出られませんでした。今の国民的スポーツとしての女子柔道の地位を確立するまでには、今とは比べものにならない環境の下で道を切り開いた女性たちがいました。

そして1978年に初めて開催された全日本女子柔道選手権で、山口香さんは優勝し、その後世界選手権でも頂点に立ちます。

用意された舞台にただ乗るだけではなく彼女らが開いた扉をさらに広げていかなければならない、柔道に限らず女子スポーツが発展するためには女子に特化したサポートの充実など、まだ様々な課題があると山口さんは具体的に指摘されました。また指導者から選手へのハラスメント問題で女子選手たちが声をあげたことの意味にも触れられました。男性がそれまで疑問を持つことも許されな

かったことに女性は疑問を持ち、声をあげた、その行動の意義は大きなものです。告発以後、それまで女性がいなかった全柔連の理事に4名の女性が登用されました。

女性の意見を取り入れることによって、集団が多様性を持つことになり、男性やスポーツ界全体にとってもメリットがもたらされます。それはスポーツ界のことだけではなく社会全体にとっても言えることです。男性、女性、どちらのアイデアや頑張りであっても社会全体が良いほうに向かい、皆が幸せな社会を目指すことが重要であると、お話をしめくられました。



講師の山口香さん  
柔道家。筑波大学体育系準教授。  
全日本柔道連盟監事。日本オリンピック委員会理事。ソウルオリンピック女子柔道銅メダリスト。  
日本オリンピック委員会女子スポーツ専門部会会長として女子スポーツの普及・発展およびスポーツ組織における地位の向上などに取り組んできた。

ウィズせつつ情報室で読めます！

元メダリストが  
日本柔道を語る  
2冊



日本柔道の論点  
山口香／イースト・プレス



性と柔  
—女子柔道史から問う  
溝口紀子／河出書房新社



柔の恩人—「女子柔道の母」  
ラストティ・カノコギが夢見た世界  
小倉孝保／小学館

女子柔道世界選手権を実現するために奔走した女性の生涯



.....

.....



## 乳がんと女性の健康

わたしのからだ、だから知ることが大事です

日本では毎年5万人以上の女性が乳がんと診断され、この20年で40歳から60歳代の乳がんが大幅に増加しています。乳がんは早期に発見し、適切な治療を受ければより高い確率で完全に治すことができます。検診に行きたいけどきっかけや勇気がない、子育てや介護、家事、仕事に追われてつい自分のことを後回しにしてしまいがちという女性へ・・・大切なわたしを守るために、わたしのからだについて知りましょう。

乳がんは自分で発見できる唯一のがんと言われています。毎月一度、乳房を定期的にセルフチェックすることで、少しの異変にも気づきやすく、乳がんの早期発見につながります。

### ◆月に1回、日にちを決めてセルフチェック！



- ✓見て！「くぼみ・ふくらみ」「ただれ・変色」「ひきつれ」はありますか？ 鏡でもチェックしてみましょう。
- ✓さわって！「しこり」はありますか？
- ✓つまんで「血が混じったような分泌物」はでませんか？
- ✓仰向けになった時「しこり」はありますか？

乳がんにかかる女性の割合を年齢別にみると、30歳代後半から増加し始め、40歳代と60歳代に、2層性の発病のピークがあります。また、乳がんは40～60歳代の女性にとって最も多いがんの死亡原因となっています。

脂肪の多い食生活による肥満や、運動量が少なくなるなどのライフスタイルの変化により乳がんが増加しています。生涯を通じて健康で豊かな生活を送るためには、わたしのからだをよく知ること、毎日のバランスのよい食事と適度な運動習慣を身につけることが大事です。



市のがん検診では、マンモグラフィ(乳房X線検査)と触診があり、自覚症状のない初期の段階でがんを発見することができます。

### 受けよう検診！

守ろう自分のからだ！



毎年4月、摂津市は「健康づくり年間日程表」を配布しています。市が実施する誕生日健診や各種がん検診の日程等がわかりやすく一覧になっています。平成25年度、市の乳がん健診の受診率は18.2%。子宮がん検診は25.7%でした。本市では、乳がんの検診は2年に1回40歳以上、また、子宮がん検診は年に1回20歳以上の女性が受診できます。土日の検診や子宮がん検診については生後3カ月から未就学児の一時保育も利用できます。

早期発見！早期  
診断！早期治療！

伝えよう！  
検診の大切さ



### 知っていますか？ピンクリボン



ピンクリボン運動は、アメリカで乳がんのため亡くなられた患者さんの家族が「このような悲劇が繰り返されないように」との願いを込めて作ったリボンからスタートしました。ピンクリボンには、乳がんの正しい知識を広め、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを伝える乳がん撲滅のための世界的なシンボルマークです。

10月のピンクリボン月間にウィズせつつでは、「乳がんと女性の健康」を考えるセミナーや、図書による情報提供、ピンクリボンをパステルで描く体験企画などを通して、ピンクリボン運動を応援します！



# 女性と子どもに対する暴力をなくそう



## ～摂津市パープル&オレンジリボンキャンペーン～

毎年11月12日～25日までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」の期間であり、11月25日は女性に対する暴力撤廃国際デーです。ウィズせつつでは、女性や子どもに対する暴力をなくすための講座やパネル展などを行います。暴力をなくすために何ができるか、一緒に考えませんか。

### 創作落語 「どめすていっく・ばいおれんす」

#### 子どもは見てる、感じてる“夫婦げんかは犬も食わない?”

聴いて 語って  
歌って 納得!

おい、この新聞見てみろ! 「夫殺害容疑で妻逮捕! 恐ろしい時代になったじゃねえか。この奥さん、旦那からDVを受けていたんだよ!」  
創作落語「どめすていっく・ばいおれんす」は、  
“夫婦げんかは犬も喰わない”ということわざを切り口に、  
日常的だと思われている出来事から、夫婦や恋人同士の平等について、そして、暴力を身近に見ている子どもへの影響について考えます。(オレンジリボンキャンペーンと共催)



日時: 11月22日(土) 午後2時～4時

講演: 千金亭値千金 (せんきんていあたいせんきん)

場所: コミュニティプラザ コンベンションホール

定員: 80名 ※お子さんの一時預かりあり(要予約)・手話通訳あり

### ココロをつなぐハンドメイドの会

女性に対する暴力をなくそう!の思いを込めて、  
パープルリボンのクマの編みぐるみとタペストリーを編む

日時: 11月21日(金)～平成27年1月23日(金)

午前10時～12時(全7回)

場所: 男女共同参画センター交流室

定員: 10名

※お子さんの一時預かりあり(要予約)



#### パープルリボンとは・・・

女性に対する暴力をなくすための国際的な運動のシンボルマークです。紫のリボンを身につけたり飾ったりすることで、暴力をなくそうという意志を表わします。この運動は、1994年アメリカで、レイプや虐待を受けた人の集まりから始まりました。今では、40カ国以上の国々に広がっています。



#### オレンジリボンとは・・・

2004年9月、栃木県小山市で二人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ入れられて亡くなる事件が起きました。事件をきっかけに小山市の「カンガルーOYAMA」が、子どもへの虐待防止を目指して、2005年にオレンジリボンキャンペーンをはじめました。2006年から児童虐待防止全国ネットワークが総合窓口を担い活動が全国に広がっています。

編集・発行 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

●開館時間: 月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時  
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日: 水曜日・祝日・年末年始

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL: 06-4860-7112 FAX: 06-4860-7113

URL: <http://with-settsu.jp> e-mail: danjyo@with-settsu.jp



2014年9月発行